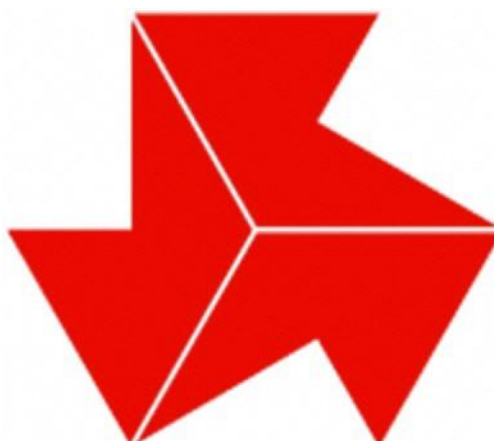


令和7年度全九州高等学校体育大会
第31回全九州高等学校フェンシング競技大会

実 施 要 項



2025

| | |
|----|---|
| 主催 | 九州高等学校体育連盟 長崎県教育委員会 |
| 後援 | 公益財団法人長崎県スポーツ協会 島原市教育委員会 九州フェンシング協会 |
| 主管 | 長崎県高等学校体育連盟 長崎県フェンシング協会 |

1. 期日・会場

(1) 開会式・閉会式

日 時 (開会式) 令和7年7月4日(金) 16:00～

(閉会式) 令和7年7月6日(日) 試合終了後

会 場 島原復興アリーナ

〒855-0879 長崎県島原市平成町2番地1

TEL 0957-64-2344

(2) 競 技

日 時 令和7年7月5日(土) 9:00～

・個人対抗 男子・女子 [フルーレ・エペ・サーブル]

令和7年7月6日(日) 9:00～

・学校対抗 男子・女子 [フルーレ]

会 場 島原復興アリーナ

〒855-0879 長崎県島原市平成町2番地1

TEL 0957-64-2344

(3) 諸会議

| 会 議 名 | 日 時 | 会 場 |
|---------------|-------------|--|
| 専門委員長会議 | 7月4日(金) 13時 | 島原復興アリーナ 会議・研修室 〒855-0879 長崎県島原市平成町2番地1 |
| 技術委員会 審判会議 | 7月4日(金) 14時 | |
| 監督会議 | 7月4日(金) 15時 | |

2. 競技規則・方法

(1) 競技規則

令和7年度(公社)日本フェンシング協会試合規則に準じ、一部(公財)全国高等学校体育連盟フェンシング専門部の申し合わせ事項を適用する。

(2) 競技方法

①学校対抗

(ア) 全試合電気用具を使用する。

(イ) トーナメント方式とする。

(ウ) 1チームは4人編成とし、3名による総当たりとする。

(エ) 男子・女子とも3分間(実働)5本勝負とする。

②個人対抗

- (ア) フルーレ・エペ・サーブルとも全試合電気用具を使用する。
- (イ) フルーレ・エペ・サーブルともプール方式とトーナメント方式の混合方式とする。
- (ウ) プール方式では、男子・女子とも3分間（実働）5本勝負とし、予選トーナメント方式では、男子・女子とも3分間（実働）2セット（セット間の休憩は1分）10本勝負、決勝トーナメント方式では、男子・女子とも3分間（実働）3セット（セット間の休憩は1分）15本勝負とする。ただし、サーブルの第1セットは3分間（実働）が経過した場合か、または、一方の選手が8本を取った時点で終了し、15本勝負とする。

3. 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。但し、当該都道府県高体連会長に事前に届け出ること。
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入していることを条件とする。
- (3) ただし、各県における規定が定められ、引率・監督がこの基準より限定された範囲内であれば、その規定に従うことを原則とする。

4. 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2) 選手は、各県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該競技専門部に登録し、当該競技実施要項により、全九州大会の参加資格を得た者に限る。（1位から順次出場させること）但し、所属する県高体連に専門部が設置されていない種目については、加盟校の生徒であることとする。
- (3) 令和7年5月末日までに（公社）日本フェンシング協会に選手登録を完了した者。
- (4) 平成18年（2006年）4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場回数は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。（「出場」とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数をさし、専門部が責任を持って調整・確認する）大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技への参加を認める。
- (5) チーム編成において、全日制・定時制・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (6) 以下の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。

ア. 部員不足に伴う合同チーム

（都道府県高等学校体育連盟会長により予選会から参加が認められた場合）

詳細は、（公財）全国高等学校体育連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程」と専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」による。

イ. 統廃合対象校による合同チーム（統廃合完了前の2年間に限る）

- (7) 転校・転籍後6ヶ月未満の者は参加を認めない（外国人留学生もこれに準じる）。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、所属高体連会長の認可があれば、この限りではない。
- (8) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長及び所属高体連会長の承認を必要とする。
- (9) 参加資格の特例による学校の参加については、全九州高等学校体育大会開催基準要項のとおりとする。

5. 参加制限

(1) 学校対抗

各県、男子・女子とも監督1名・選手4名以内の1チームとする。

(2) 個人対抗

①各県、全ての種目において男子・女子とも3名以内とする。

②1人2種目以内とするが、エペ・サーブルの2種目に参加することはできない。

(3) 外国人留学生の参加については、団体は規定人員のうち1名まで、個人は種目に関係なく1校につき、男子・女子とも1名までのエントリーを認める。

6. 参加申込

(1) 申込方法

詳細については、九州高体連ホームページ「その他ドキュメント」から、「申込電子化説明」を参照すること。

ア 九州高体連ホームページから、所定の申込用紙 (Excel) をダウンロードし、必要事項を記入する。

イ 校長印を押印し、PDF化する。(原本は各校で保管すること)

ウ 提出する参加申込書のファイル名を「(校名) 参加申込書」とする

エ 上記で作成したPDFデータと作成元のExcelデータを1つにまとめ、申込先メールアドレスに送信する。(宿泊申込書のデータと併せて送信すること)

(2) 申込先 出場校：所属県競技専門部が指定するメールアドレス：

各県専門委員長：〒852-8052 長崎県長崎市岩屋町41番22号

長崎工業高等学校 四元 純一

TEL 095-856-0115 FAX 095-856-0117

参加申込書データ 送り先 yotsumoto0785@news.ed.jp)

※申込後の変更は一切認めない。また、参加申込の電子データを下記に示すメールアドレスまで電子メールで送信すること。

(3) 申込締切日 令和7年6月6日(金) 当日消印有効

7. 参加負担金

(1) 団体 20,000円/チーム 個人 2,000円/人

(2) 各県競技専門部は、下記の銀行口座に振り込むこと。

| | |
|------|---|
| 銀行名 | 十八親和銀行 滑石支店 |
| 口座番号 | 普通 5019299 |
| 口座名義 | ナガサキケンコウトウガッコウタイイクレンメイ 長崎県高等学校体育連盟 フェンシングセンモンブ フェンシング専門部 |

8. 組み合わせ

開催県高等学校体育連盟で行う。(原則として、開催県高等学校体育連盟理事長が同席する。九州専門委員長の同席も可とする。)

9. 表彰

学校対抗・個人対抗とも3位までを表彰する。

10. 宿泊

- (1) 参加者の宿舎は大会事務局の指定する宿舎とする。宿舎の割当ては、大会事務局で決定し、各参加校に通知する。
- (2) 所定の申込用紙に必要事項を記入の上、2部作成すること。なお、1部は所属高等学校体育連盟控えとし、1部を各県高等学校体育連盟競技専門部が取りまとめ、参加申込書に同封し送付すること。
- (3) 宿泊費は、1人当たり1泊2食10,000円(税・サービス料込み)とする。
- (4) 宿泊決定後の宿泊人数の変更等については、当該校の引率責任者が直接、宿舎へ連絡を取り、相互で確認すること。
- (5) ア 昼食弁当は864円(税込)とする。
イ 引率責任者が必要数を取りまとめ、宿泊申込書内の様式で申し込むこと。
ウ 引率責任者は申込内容に変更が出た場合、変更期限内に業者指定の方法で連絡すること。

11. 参加上の注意

- (1) 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者で行う。
- (2) 参加選手は、必ず健康保険証を持参すること。
- (3) 開会式の服装は、クラブ用のジャージであれば自由とする。ただし、靴については開会式会場の規定に従うこと。

12. 個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて

- (1) 九州高等学校体育連盟が別に示す「九州高体連主催大会における個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて」に則った対応を行うものとする。
- (2) 競技専門部は「九州高体連主催大会における個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて」を競技実施要項及びプログラムに必ず掲載するとともに、大会中は一般観客等に周知するものとする。
- (3) 肖像権の取扱いについては、九州高等学校体育連盟が別に示す「九州高等学校体育連盟肖像権取扱規程」に則った対応を行うものとする。

13. 新型コロナウイルス感染症対応について

九州高等学校体育連盟作成の「全九州高等学校体育大会」危機管理マニュアルに示す「感染症(はしか・インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症等)の予防及び対応について」に基づき、対応するものとする。

14. 連絡事項

- (1) 試合中の用具の破損は、選手の責任とする。なお、予備の用具を必ず準備し、試合に支障を来さないようにすること。

(2) 用具検査に関する事項

- ①事前検査対象はマスク・メタルジャケット・カフとする。その他は主審がピスト上で検査を行う。
- ②検査日時、検査項目、返却日時および用具・個数制限を次のとおりとする。
 - ・日程 令和7年7月4日(金) 13:00~17:00 [即時返却予定]
 - 7月5日(土)・6日(日) 開館~試合終了 [即時返却]
 - ※ 但し、時間帯により混雑した場合は多少待ち時間を要します。
 - ・受付数(1チームにつき) [各校ごとにまとめて提出のこと]
 - マスク: 5個以内 メタルジャケット: 5枚以内 カフ: 5個以内
 - ・場所: 島原復興アリーナ内 用具検査場

(3) 競技の服装

- ①ユニフォーム上下(350N)・F I E公認マーク付き半袖プロテクター(800N)・F I E公認マーク付きマスク(1600N)を着用すること。
- ②上下衣、ソックスは必ず白色とすること。特に、ソックスは試合中に膝が出てこない長いもので、かつ厚いものを着用すること。上衣の中には(F I E公認のユニフォームでも)必ず半袖付プロテクターを着用し、女子の選手は金属または固い材料でできている胸当てを両胸に着用し、その他の急所には十分な防備をすること。
- ③上衣の中には必ず半袖付きプロテクターを着用し(F I E公認のユニフォームでも着用のこと)女子の選手は金属または固い材料でできている胸当てを両胸に着用し、その他の急所には十分な防備をすること。また、フルーレでは、胸の保護具(プロテクター)は、上部エッジの中央にF I Eマークがついた柔らかい素材で覆わなければならない。
- ④サーブルのグローブについては、F I E公認サーブル用グローブを着用すること。
- ⑤選手は頭髮に注意し、試合に支障のないようにすること。特に、頭髮がメタルジャケットの表面にかからないようにすること。
- ⑥ゼッケンを図1のように作成し、各自の後ろ足の膝の外側に必ず付けること。姓と校名について男子は黒字、女子は赤字でピスト係が判読できるよう(太さ1cm以上)に記入し、同一校に同姓のものがいる場合は、識別できるよう名を付ける。

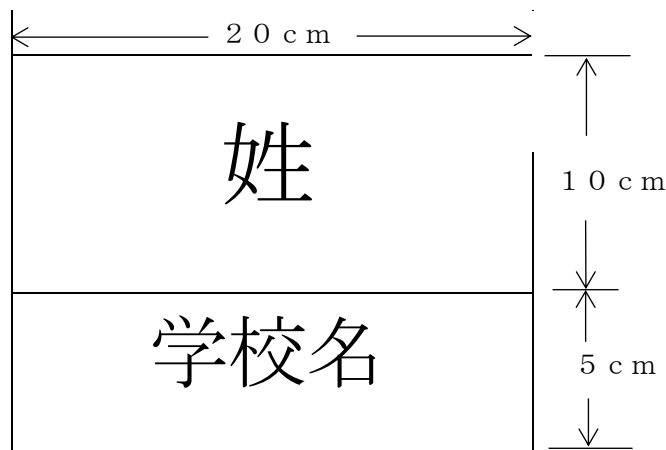


図1

- (4) ベンチの入場者は、学校対抗においては監督及び登録選手とし、個人対抗においては監督及び個人出場選手とする。
- (5) 外履き・内履きの靴は、競技会場・練習会場とも必ず区別すること。サンダル等は許可しない。

- (6) 競技会場・練習会場とも剣で床を突かないこと。剣の曲がりを直す場合は、指示された場所で行うこと。
- (7) 練習中はマスクなしでのファイティング・レッスンを禁止する。
- (8) 部旗が大会会場で掲示できる場合、1校1枚(長さ2m×幅2m以内)とする。会場によっては掲示できないこともある。